

書名	命知と天理			著者名	住原 則也／著		
出版社	天理教道友社	ISBN	978-4-8073-0635-0	本体価格	¥1,400	発売	2020/8/1
内容	松下電器(現パナソニック)が“世界企業”へと躍進する分水嶺として、必ず語られる松下幸之助氏の天理訪問。本書は、これまでに明かされることのなかったその様子を、氏の自叙伝などをもとに追体験。さらに松下電器の経営と本教との類似や相違を指摘する完全書き下ろし。写真23点、昭和7年の「おぢば案内図」を収載。						

書名	地図でスツと頭に入る古事記と日本書紀			著者名	瀧音能之／監修		
出版社	昭文社	ISBN	978-4-398-14456-0	本体価格	¥1,200	発売	2020/8/1
内容	人間味あふれる神々の営みを、49のエピソードで読み解く。						

書名	読み解き古事記			著者名	坂田安弘／著		
出版社	潮書房光人新社	ISBN	978-4-7698-7026-5	本体価格	¥890	発売	2020/8/1
内容	民族の歴史、神話を古事記で読む。神話は比喻で語られるので、それを頼りに心で読み、英知を探り当てる。文字(漢字)を意識せず、こだわらず読む。原文→現代語訳→読み解き。たとえば、イザナギとイザナミの行為は単なる初の生殖行為とか、イザナミが先に声をかけたことによって国生みが失敗するが、日本に元々ある男尊女卑の思想だというような表面的な話ではなく、互いに良き方へいざなう存在で優劣などない。男女各々がしっかりその特性を見極めた。						

書名	短歌研究ジュニア 初めて出会う短歌100			著者名	千葉聡 佐藤弓生 寺井龍哉 佐藤りえ／イラスト		
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-520929-5	本体価格	¥1,300	発売	2020/8/5
内容	万葉集の古典から、現代の十代歌人の作品まで。これまでなかった「オールタイムベスト短歌100」。はじめて出会う珠玉の短歌——それはきっと「心の宝物」になる。老舗短歌専門誌「短歌研究」が、少年少女向けに総力をあげて編集。もともと「短歌研究ジュニア」という別冊付録だったが、短歌初心者のシニア層にも大好評。ジュニアからシニアまで、年齢を問わない短歌入門書の決定版として、ついに刊行。						

書名	日本宗教史を問い直す			著者名	編集／吉田 一彦、上島 享			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-01741-1	本体価格	¥3,800	発売	2020/8/15	
内容	古代から近代までの日本宗教史を、神の祭祀や仏法伝来、宗教活動の展開と宗教統制、政治との関係などを柱に概観する。さらに文化交流史、彫刻史、建築史、文学、民俗学の分野から日本の豊かな宗教史像をとらえ直す。							

書名	幸せが授かる 日本の神様事典			著者名				
出版社	マイナビ出版	ISBN	978-4-8399-7388-9	本体価格	¥980	発売	2020/8/20	
内容	好評既刊『幸せが授かる 日本の神様事典』の文庫版が登場！本書では、『古事記』を中心に、97柱の神様たちを紹介しています。神々の伝説やプロフィール、お祀りされている神社のほか、個性豊かな神々たちがどんな役割を持つのかまで、フルカラーの力強いイラストとともに、詳しく紹介しました。							

書名	古事記の神々 付古事記神名辞典			著者名	三浦 佑之／著			
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-400582-5	本体価格	¥960	発売	2020/8/25	
内容	神々はどこからきて、どこへ行ったのか。最古の歴史書に隠された謎に迫る。なぜ出雲神話は詳細に書かれたのか？ なぜヤマトタケルは悲劇の英雄なのか？ 古事記には「滅びゆく者を見守る」思いがある。そこに記された敗者たちの記録とは。第一人者が解き明かす新しい神話の読み方。							

書名	日本の仏教と十三宗派			著者名				
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-00813-8	本体価格	¥1,000	発売	2020/8/27	
内容	新型コロナウイルスの感染拡大で、多くの人たちが「諸行無常」を感じていますが、飛鳥時代から現代に至るまで、天災や疫病、戦災に見舞われたとき、仏教は常に人々に寄り添い、心の拠り所となってきました。本誌は無常であることを生きる力に変えてきた日本仏教の基本から仏教十三宗派の宗祖や教え、さらには仏事のマナーまでを、わかりやすく解説します。							